



できることから始めよう！カーボンニュートラル
「知る」「測る」「減らす」の
3ステップ



LINE
公式アカウント



2025

冬

あなたの経営パートナー

Bizサポート



静岡商工会議所 中小企業相談所

静岡支所 葵区黒金町 20-8 TEL 253-5113

清水支所 清水区相生町 6-17 TEL 353-3402

<https://www.shizuoka-cci.or.jp>



静岡商工会議所サポート企業の紹介 北極しろくま堂(有)

女性起業家大賞 第3回エクセレント賞 受賞

オクシズにある子育て支援・女性活躍応援施設「こぐま Place」

2023年4月、オクシズエリアに子育て支援・女性活躍の促進を目的とした施設「こぐま Place」がオープンしました。この施設は、おんぶ紐・抱っこ紐の販売を行う北極しろくま堂が運営しています。

施設内には築250年の古民家を中心にイベントを行う「こぐま棟」、厨房機能を備えた「キッチン棟」があり、「こぐま棟」では「ベビーマッサージ教室」や「親子ヨガ」などのお子様が居る方向けの講座やフリーマーケット、ライブなどのイベントを開催し、「キッチン棟」では健康的な料理が提供されている他に、料理教室も定期的に開催されており様々な方が楽しめる施設になっています。

最近はバーベキュー設備を備えたり、ウェディングパーティーが開催されたりと「こぐま Place」の活用法は益々増えています。

オクシズの自然に囲まれた施設内は穏やかな時間が流れており、子供も大人ものびのびと過ごすことができます。皆様もぜひ「こぐま Place」に遊びに来てください！

中小企業相談所 経営指導員 宮城 篤史



代表取締役
園田 正世 さん

【企業情報】

北極しろくま堂(有)

葵区平野 135

☎054-295-4690

<https://koguma.babywearing.jp/>

静岡商工会議所 無料専門家相談会のご案内

各種相談会スケジュールは
ホームページにてご確認ください。

法律、税務、特許、労務、ITなど、様々なビジネスに関するご相談を、専門的な知識や実務経験を持つ専門家による相談会を定期的に行っております。相談は無料です。原則事前予約制ですので、まずはお電話でご予約ください。

● 静岡支所経営支援課 ☎054-253-5113

● 清水支所経営支援課 ☎054-353-3402

3機関合同相談会
開催のお知らせ

静岡県中小企業活性化協議会／静岡県事業承継・引継ぎ支援センター／静岡県よろず支援拠点の3機関が合同で開催する「無料相談会」を開催しています。詳しくは右記QRコードよりご覧ください。



しずおかの景気動向 (2024年10-12月期)

静岡商工会議所では、このほど2024年12月に実施した管内企業の景況調査結果をとりまとめました。
この調査は会員企業の景気動向を把握し、経営の参考にさせていただくことを目的に四半期ごとに実施しているものです。

■調査方法 郵送によるアンケート方式
■調査対象 製造業・小売業・サービス業・卸売業・建設業
■対象企業数 計500社
■回答状況 283社
■回答率 56.6%

	2023年 7-9月	2023年 10-12月	2024年 1-3月	2024年 4-6月	2024年 7-9月	2024年 10-12月	2025年 1-3月 (見通し)
全業種計	▲14.9	▲21.9	▲23.4	▲22.1	▲20.8	▲23.7	▲19.8
製造業	▲27.6	▲38.1	▲38.1	▲31.0	▲28.4	▲30.1	▲27.7
建設業	▲21.7	▲20.4	▲26.4	▲17.5	▲8.5	▲17.5	▲3.5
卸売業	▲8.8	▲21.2	▲18.8	▲6.7	▲30.0	▲23.5	▲20.6
小売業	▲16.0	▲26.9	▲26.0	▲36.7	▲24.1	▲39.6	▲41.7
サービス業	4.7	3.3	0.0	▲11.6	▲15.4	▲8.2	▲6.6

※D I = 「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値。

1 産業別業況D Iの推移

全産業の業況D Iは▲23.7で、前期(2024年7-9月期)の▲20.8から悪化しました。業種別では卸売業、サービス業は「好転」に対して、製造業、建設業、小売業は「悪化」となりました。

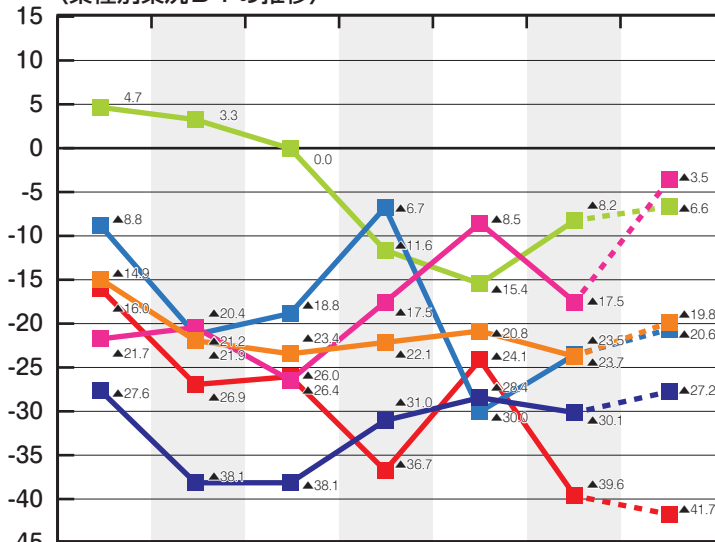
2 来期の見通し

来期(2025年1-3月期)の見通しD Iは、全産業で▲19.8と今期実績値より改善する見込みです。

3 経営上の問題点

今期(2024年10-12月期)の調査において、全産業で「原材料・材料や仕入単価の上昇」が経営上の問題点のトップにあがりました。

〈業種別業況D Iの推移〉



2023年7-9月 2023年10-12月 2024年1-3月 2024年4-6月 2024年7-9月 2024年10-12月 2025年1-3月(見通し)

支援サイトのご紹介

「ザ・ビジネスモール」をご活用ください

<https://www.b-mall.ne.jp/>

ザ・ビジネスモール

検索



ザ・ビジネスモール参加の商工会議所・商工会の会員限定

運営体制 「日本全国560超の商工会議所・商工会が共同運営」

登録事業所数 「全国29万社超の事業所」

■主なサービス

取引先検索

一般閲覧可

全国29万超の登録企業から希望の品やサービスを取り扱っている企業を探すことができます。

会社PR掲載

会員限定(無料)

「ザ・ビジネスモール」上に自社の製品・サービスをPR出来ます。

ザ・商談モール

会員限定(無料)

買い手
売り手

新たな取引の機会をつくる事が出来ます。

時間や地域の制約を受けず、取引相手を探す事が出来ます。
購買意欲のある企業に直接応募し、売り込む事が出来ます。



■ザ・ビジネスモールのメニューを利用するにはユーザー登録が必要です。

- ① サイトにアクセス
- ② 登録画面にアクセス
- ③ 静岡商工会議所を選択
- ④ 既に企業情報の登録があるか確認
- ⑤ 情報を入力
- ⑥ 申請
- ⑦ パスワードを設定し利用開始

※申請内容を静岡商工会議所で承認の上、登録完了メールをお送りします。しばらく経っても登録完了メールが届かない場合はお問い合わせください。

■お問合せ

●サービス全般について

ザ・ビジネスモール事務局 (大阪商工会議所 経営情報センター内)

TEL 050-7105-6220 (平日9:00~17:00)

●ユーザー登録/サービス利用開始について

静岡商工会議所 経営支援課

TEL 054-253-5113 (平日9:00~17:00)

労働保険事務組合をご利用ください

従業員を1名でも雇っている場合は、労働保険の加入が必須です。
労働保険事務組合 静岡商工会議所は、厚生労働大臣の認可を受け、
労働保険の事務処理を代行することができる団体です。

従業員の生活や安全を守るために



労働保険とは
労災保険と雇用保険を
総称したものです。



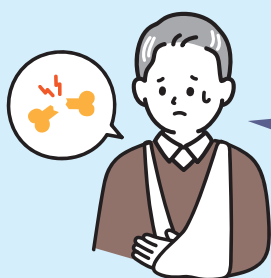
労災保険

従業員が勤務中または通勤時の負傷や障害
などを補償する保険です。雇用形態に関係なく
すべての従業員が加入しなければいけません。



雇用保険

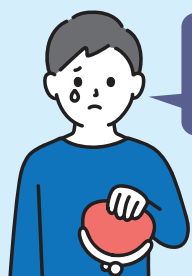
従業員の失業時に備えて加入する保険
です。週20時間以上、31日以上勤務
する従業員が対象です。



事業主は労災に
入れないの？



書類の書き方が
わからない！
時間もない



保険料って
一括で払うの？

申請から加入後まで
事務手続きをきめ細やかに
サポートします



【委託のメリット】

ホームページで
さらに詳しく



メリット①



事業主も労災に加入できる

「労災特別加入制度」を利用し一定条件
を満たせば、事業主や法人役員も労災
に特別に加入できます。

メリット②



3回に分割納付できる

労働保険料の額にかかわらず、
3回に分割納付できます。

メリット③



事務作業を省力化できる

労働保険料の申告・納付等の複雑な
事務について、きめ細かいサポート
が受けられます。



労働保険事務組合 静岡商工会議所

【受付時間】9:00～17:00(土日祝日を除く) 【静岡支所】TEL:054-253-5113 【清水支所】TEL:054-353-3402

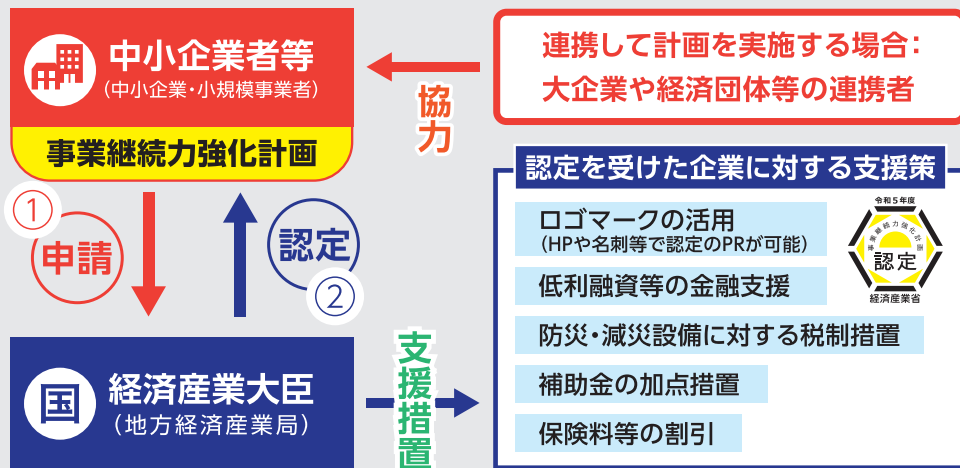
中小企業のための、事業継続力強化計画とは？

(ジギョケイ)

中小企業が自社の災害リスクなどを認識し、防災・減災対策の第一歩として取り組むために必要な項目を盛り込んだもので、将来的に行う災害対策などを記載するものです。

ジギョケイを策定し、国に申請して認定を受けると、防災・減災設備に対する税制措置、低利融資、補助金の加算措置など、さまざまなメリットを受けることができます。

【事業継続力強化計画認定のスキーム】



【策定の流れ】

5つの検討ステップで、簡単に計画を作成

- Step1 事業継続力強化の目的の検討**
自然災害等が起こった際、サプライチェーンや地域経済社会に与える影響、従業員に対する責務等、自らの事業継続力強化が自然災害等による経済社会的な影響の軽減に資する観点から、目的を検討して記載します。
- Step2 災害などのリスクの確認・認識**
ハザードマップ等を活用し、事務所・工場などが立地している地域の災害等のリスクを確認。被災想定を基に、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の4つの切り口から、自社にどのような影響が生じるかを考えます。
- Step3 初動対応の検討**
災害等が発生した直後の初動対応を検討します。その際、①人命の安全確保、②非常時の緊急時体制の構築、③被災状況の把握・被害情報の共有等の取り組みが求められます。
- Step4 ヒト、モノ、カネ、情報への対応**
Step2で検討したヒト、モノ、カネ、情報への影響を踏まえ、災害等に備えて事前にどのような対策を実行することが適当か検討します。
- Step5 平時の推進体制**
ジギョケイは策定するだけでなく、平時の取り組み(訓練)が大切です。平時から繰り返し取り組むことで、緊急時においても落ち着いて、適切に対応することができるようになります。

